



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141

5月号



PTA ボランティアのみなさま、保護者のみなさま、地域のみなさま、レディースエンジェルのみなさま、1年生など児童の登下校の見守りありがとうございます。多くの方々に見守られ、児童も安心して登下校ができていることと思います。

入学・始業式から約1ヶ月がたち、子どもたちは少しずつ学校生活に慣れてきたように思います。4月当初と比べると、たくさんのおもたちから「おはようございます!」や「校長先生!」などと声をかけられることが多くなり、とてもうれしく思っています。

また、4月28日に、避難訓練が行われましたが、新しい担任や仲間とともに「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の「おかしも」をしっかりと守りながら、みんなで協力しながら行動していました。もちろん、訓練が始まった時の放送をきちんと聞いていたり、校庭での話も静かにきちんと聞いていたりして、とても素晴らしく思いました。このように、子どもたちは新しい学校生活に慣れようと、とてもよくがんばっています。この時期子どもたちは新しい環境に気を張って、疲れも出始める頃かと思えます。この連休中に、心と体を休めるとともに、ぜひ、お子様の学校生活の話聞いて、がんばりを認めてくださればと思います。また、お子様が友だちに優しく接した話をしたら、たくさん褒めてください。きっと、お子様の励みとなり、今後の学校生活へ向けた活力になることと思います。

(校長)



朝の教室、お手伝いの6年生にサポートを受けていた1年生の姿も、今では懐かしい風景です。人のやさしさに触れたり、周りの様子を見たりしながら、自ら行動できるようになりました。「先生、今日は1人でできたんだよ!」と、1年生を見て喜んでいる6年生もいました。「関わり」の中で学んだり感じたりする場面を、大切にしていきたいです。

ただ「関わり」がゆえの疲れや困り感が出てくることもあります。「疲れた」、「嫌だ」などの言葉の理由をとかく大人は探したくなるものです。もやもやした気持ちを言語化するのは大人でも難しく、時に苦しいことでもあります。一緒に「ぼ〜っ」としたり、ギュッと抱きしめてあげたりすることも、大切な「関わり」になると思います。(教頭)